

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

10. 呼吸器系の疾患 (インフルエンザ、鼻炎を含む)

文献

嶋崎譲, 森壽生, 倉田文秋, ほか. 春季アレルギー性鼻炎 (花粉症) に対する小青竜湯と五虎湯の効果 両剤の効果の比較検討. *Therapeutic Research* 2001; 22: 2385-91. 医中誌 Web ID: 2002138087 [MOL](#), [MOL-Lib](#)

1. 目的

花粉症に対する小青竜湯と五虎湯の効果の比較評価

2. 研究デザイン

準ランダム化比較試験 (quasi-RCT)

3. セッティング

病院 1 施設、診療所 4 施設

4. 参加者

鼻汁好酸球試験陽性かつ IgE 高値の花粉症患者 116 名

5. 介入

2000 年 1 月 31 日から 4 月 10 日までの初診患者

症状が強いときはインターナル点鼻およびインターナル点眼を処方した。

服薬 2 週間で判定した。

Arm 1: ツムラ五虎湯エキス顆粒 7.5g 3x 58 名

Arm 2: ツムラ小青竜湯エキス顆粒 9.0g 3x 58 名

6. 主なアウトカム評価項目

鼻症状: くしゃみ、鼻汁、鼻閉 眼症状: 眼周囲搔痒感、流涙、眼脂、眼痛

7. 主な結果

Arm 1 で 10 名が通院中止, 1 名が副作用で投与中止。Arm 2 では 17 名が通院中止で解析例は Arm 1 で 48 名、Arm 2 で 41 名である。各症状別の改善度を見ると眼脂、眼痛で五虎湯の有効率が高い以外には、小青竜湯の方が有効率は高いが、有効率に有意差は認められなかった。

8. 結論

両群の有用度は、やや有用以上が、五虎湯で 70.8%、小青竜湯で 80.5% と両群間に有意差は認められない。

9. 漢方的考察

小青竜湯、五虎湯は実証から中間証に用いられるため、虚証の患者は参加者から除外した。

10. 論文中の安全性評価

五虎湯投与群には口渇 5 名、腹痛 1 名、硬便 1 名、動悸 1 名 (解析から除外)、小青竜湯には口渇 1 名、便秘 1 名であった。

11. Abstractor のコメント

著者には、これまで漢方薬同士のアレルギー性鼻炎、花粉症に対する効果の比較の論文がいくつかある。纏めてみていただきたい。

12. Abstractor and date

藤澤 道夫 2009.1.15, 2010.6.1